

会議名	令和6（2024）年度第2回男女平等参画審議会	作成日	2024/08/26
		作成者	企画経営課
日時	令和6年8月26日（月）18:00-19:30	場所	第二中研修室 オンライン
出席者	【委員】 荻田会長、渥美副会長、木下委員、福島委員、今村委員、竹野委員、岩本委員、牧野委員、大黒委員、中川委員、田中委員、南委員、瀬尾委員 【市（企画部企画経営課）】 石坂部長、中塚副主幹、山際、堀江 【市（関係各課）】 田中調整担当部長（総務部）		
欠席者	河西委員		
議題	(1) 第1回審議会の振り返り（いただいたご意見、質疑への回答）（資料1） (2) 「男女及び多様な性の平等参画のための三鷹市行動計画2027（仮称）」の策定に向けた考え方について（資料2・3）		
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・（資料1）令和6（2024）年度第1回男女平等参画審議会概要版会議メモ ・（資料2）「男女及び多様な性の平等参画のための三鷹市行動計画2027（仮称）」の策定に向けた考え方について（修正版） ・（資料3）新体系（目標-施策）と各事業のイメージ ・（参考資料1）男性職員の育児休業取得状況、有休取得日数等の他市比較 ・（参考資料2-1）若年女性（20～39歳）の将来人口推計 ・（参考資料2-2）令和2年三鷹市国勢調査 就業状態等基本集計結果の要約 ・（参考資料2-3）男女別15歳以上労働力率 ・令和6（2024）年度委員名簿 ・席次表（会場出席者のみ） 		
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2について、本日の意見を踏まえて内部で検討、修正のうえ、9月の総務委員会で報告する。変更内容は委員へメールにて連絡する。 ・次回会議は10月に開催予定。日程は近くなったらメールにて連絡する。 		
意見・質問・要対応事項		市の回答・対応	
議事(1)	女性交流室の活用方法、名称変更、あり方について「計画のプロセスを通して検討」とは、どのように対応するのか。「女性センター」に関する議論は、素案検討までの期間では短すぎる。（田中委員）	<input type="checkbox"/> 本審議会や庁内協議の場で検討していく。 今できる内容、新計画期間で検討する内容の二本立てで検討していく。	
	参考資料1 他との比較には算出方法の定義が必要だが、大切なのは市が実態を把握していることである。独自のデータはあるか。（田中委員）	<input type="checkbox"/> 職員課が把握している取得実態について説明済み。	
	参考資料2-1 前回指摘のあった「三鷹市は流入が多く、転出が少ない」ことがこの資料からは分かりにくい。市ではデータを確認しているか。（南委員）	<input type="checkbox"/> R2以前は転入超過、R4以降は若干の転出超過であることを確認済み。	
議事(2)	資料2 2(2)エ 正規職員に限らず、会計年度任用職員にも研修受講を必修とできないか。（牧野委員）	<input type="checkbox"/> 現場の負担にならず必要な職員が受けられるよう、受講方法等検討する。	
	資料2 2(2)エ 一般市民にも研修動画を公開できないか。職員が研修を受けていることやその内容を当事者が知ることが出来れば、安心して窓口を利用できると思う。（中川委員）	<input type="checkbox"/> 一般公開は困難。職員向けガイドブックの作成後、HPに公開する。	
	資料2 3(3)「子育て世代の女性がまちに魅力を感じ」と修正されているが、多様な市民がいる中でこの表現はどうか。LGBTQの方や、産めない、産めない女性もいる。（中川委員）	<input type="checkbox"/> 多様な立場の方に配慮した文言に修正した。	
	資料2 3(5)表記が抽象的。LGBTQは性的マイノリティの方のみを指す表現であり、SOGI相談と合わせて、SO	<input type="checkbox"/> あらゆる性別、性的指向、性自認の多様性を尊	

	G I を使用すべき。(田中委員)	重することを表現した文言に修正した。
	資料2 3(6)「デジタル技術を活用」とは、何を想定しているか。講座など対面とオンラインとでは理解度が変わってくるので、取捨選択が必要。(竹野委員)	<input type="checkbox"/> 講演会のアーカイブ配信やオンラインを活用した周知、申込、意見収集などを想定。
	資料2 3(6)デジタル技術は、市民との双方向コミュニケーションに生かせるのでは。例えばA I の活用として、三鷹市HPにもコンシェルジュ的な機能があるとよい。(南委員)	<input type="checkbox"/> 行政として正しい情報を発信する責任があり、現時点では困難。LINE 配信やプッシュ型の情報発信は今後検討する。(ロゴフォームはすでに活用中)
	資料3 事業の羅列ではなく重点項目、重点施策が分かる「設計図」を10月の審議会で示して欲しい。他市と比べた三鷹市の課題を示し、対応策を議論する必要がある。(牧野委員)	<input type="checkbox"/> 課題感や施策のメリハリを意識した資料作成に努める。
	資料3 事業数が多いと感じる。体制、予算的に市がどの程度取り組めるのかが示されると議論しやすい。(南委員)	<input type="checkbox"/> 事業ごとに予算があり、計画全体として示すことは困難。
	資料3 「42 人権を侵害する有害な「図書」という表記は、「インターネットのフィルタリング」など時代に合った表現にすべき。(中川委員)	<input type="checkbox"/> 今後、事業内容の見直しを進める中で修正する。
	資料3 「78 リプロダクティブ・ヘルス / ライツ (性と生殖に関する健康と権利)」の文言はぜひ入れるべき。(中川委員)	<input type="checkbox"/> 子ども政策部と連携して検討する。 ※現計画でも、施策の方向性で文中に使用。
	資料3 「94 男女平等参画に関する意識・実態調査」は、行っているか。(中川委員)	<input type="checkbox"/> 基本計画策定時に市民を対象として実施。
その他	今は課題が細分化されている。他部署と連携し、メリハリをつけた効率的な働き方改革が必須。(牧野委員)	<input type="checkbox"/> 事業の見直しと並行して検討していく。
	計画や取組状況調査について、各課の回答を取りまとめるだけでなく、調整が企画部の役割である。取組状況報告書も10数年変化がなく、意味がない。(牧野委員)	<input type="checkbox"/> 報告のあり方なども検討していきたい。
	行動計画の推進本部はあるのか。連絡会、情報交換会ではなく、取り組みを推進することが目的であることを認識して欲しい。(牧野委員)	<input type="checkbox"/> 計画推進のための庁内連絡会議と本審議会に進捗確認などを行っていく。
	「包括的性教育」について、学校教育にこだわらず検討すべき。大人向け、親子向けなど実施してもよい。「生殖教育」ではなく「性教育」が必要。計画期間内に議論していくことを盛り込むべき。次期計画の中では、検討委員会を立ち上げて欲しい。(田中委員)	<input type="checkbox"/> 計画策定のプロセスの中で考え方を示していく。